

郡山クラブの 箭内（やない）美夫さん再登場の WEB 講演会開催！！

北海道34日間の一人キャンプの旅の途中に、7/20の札幌クラブ主催の国内交流「富良野バス旅行」に他クラブから一人参加されていた箭内さんが自らの旅の体験談を9/22 13:30よりWEB講演してくれました。



用意してくれた多数の写真を交え、一人キャンプの旅に至った経緯をはじめ興味深い話が満載で、参加者23名は皆興味津々。当初予定していた時間をかなりオーバーしましたが、アクティブな彼の生きざまや人生観に触れることができた楽しい時間となりました。

以下に、2, 3のエピソードを掲載します。***彼のユニークな体験談は、自身のブログ「福島県の山に登ってみませんか」や彼のFacebookなどにも掲載中です。興味ある方は、そちらもよろしく***

(1) 「退職後、こんな生活ができたらいいな！」私の描いた夢とは？

- ・退職するのを楽しみに、やりたいことを書き出し、そして着々と実行。
- ・そのなかでも“日本300名山の踏破：登山しながら日本各地の文化や神社仏閣を見て回りたい”が高じてキャンピングカーによる国内一人旅が始まったそう。 ⇒⇒現在、157座踏破
- ・今回の北海道34日間の一人キャンプの旅もその一環。
- ・また“毎年一か月間海外で一人暮らしを体験する”という夢にも挑戦。これまでに、台湾、タイ、オーストラリア、ニュージーランド、インドネシア（バリ島）など実現。

(2) 一人キャンプ放浪の旅の“きも”とは？

- ・“キャンピングカーの宿営地は「道の駅」の駐車場が便利。普段の食事はレトルト中心の簡便なもの。時には地元名物料理で舌つつみ。余技にパークゴルフ交流あり。途中で出会う現地の人、他県からの旅行者などとの触れ合いが楽しい。「放浪の旅」と言いたいところだが、実は事前に念入りに地域情報を調べ、体験できるようイベント開催の日程などをチェック。
- ・道内入りして最初にしたのは雑誌「ほっ」をゲットすること。そこに出ている日帰り温泉チケットなどが役に立つ。



(3) 郡山クラブの知られざる国ネパール渡航をACとして企画、実行

- ・カトマンズのホームステイ先では、フォーク・スプーンを使わず現地に合わせて指を使っての食事。味がまろやかになって美味しい、とのこと。毎朝近所を自由に散歩。ネパール式トイレや「生水注意」の話題も。山岳トレッキングや航空機による空からのヒマラヤ山系巡りありの冒険旅も企画。
- ・HC以外のホストたちはネパール語しか話さないけど、子ども達が学校教育のお陰で英会話オクケー。近年、小中学校の授業が全て英語に。出稼ぎや観光で成り立つネパール国の方針です。

